

今回の自然環境体験学習(出前授業)に際し、下記3回の準備と下見を行った。

【6月10日 学校周辺下見及び担任先生との打ち合わせ】

【7月14日 事前作業・・・学校周辺のカブトムシ生息確認用に、この夏の産卵場所を事前に設置】

事前の通常活動時にコナラの小枝から作っておいたチップ12袋を運び込み、この夏のカブトムシ産卵場所としてテスト的に設置。学校周辺にカブトムシが生息していれば、ここに産卵し、10月の出前教室時には幼虫が確認できるはず。それを信じて設置した。



【10月7日 事前の最終下見と7月に設置した産卵場所の幼虫有無の確認観察】



学校すぐ横の雑木林には多くの腐葉土があることを確認。ただし、放置林のため陽が差さず、生きものたちにはやや棲みにくい場所かもしれない感じもする。



7月に校庭の片隅に設置しておいたカブトムシの今年の産卵場所を確認。何匹かの2齢幼虫を確認した。10月の出前教室時にはさらに大きく育ち、3齢幼虫となった姿が観察できそう。